

寺
ごよみ

七月

一日 お講音沢

一四日	永代祠堂会
一五日	午後一時 本山助成会
一六日	午前十一時 お講中陣
一七日	午後一時 速夜

一

二

三

四

五

六

七

八

九

十

十一

十二

十三

十四

十五

十六

十七

十八

十九

二十

二十一

二十二

二十三

二十四

二十五

二十六

二十七

二十八

二十九

三十

三十一

三十二

三十三

三十四

三十五

三十六

三十七

三十八

三十九

四十

四十一

四十二

四十三

四十四

四十五

四十六

四十七

四十八

四十九

五十

五十一

五十二

五十三

五十四

五十五

五十六

五十七

五十八

五十九

六十

六十一

六十二

六十三

六十四

六十五

六十六

六十七

六十八

六十九

七十

七十一

七十二

七十三

七十四

七十五

七十六

七十七

七十八

七十九

八十

八十一

八十二

八十三

八十四

八十五

八十六

八十七

八十八

八十九

九十

九十一

九十二

九十三

九十四

九十五

九十六

九十七

九十八

九十九

一百

一百零一

一百零二

一百零三

一百零四

一百零五

一百零六

一百零七

一百零八

一百零九

一百零十

一百零一

一百零二

一百零三

一百零四

一百零五

一百零六

一百零七

一百零八

一百零九

一百零十

一百零一

一百零二

一百零三

一百零四

一百零五

一百零六

一百零七

一百零八

一百零九

一百零十

一百零一

一百零二

一百零三

一百零四

一百零五

一百零六

一百零七

一百零八

一百零九

一百零十

一百零一

一百零二

一百零三

一百零四

一百零五

一百零六

一百零七

一百零八

一百零九

一百零十

一百零一

一百零二

一百零三

一百零四

一百零五

一百零六

一百零七

一百零八

一百零九

一百零十

一百零一

一百零二

一百零三

一百零四

一百零五

一百零六

一百零七

一百零八

一百零九

一百零十

一百零一

一百零二

一百零三

一百零四

一百零五

一百零六

一百零七

一百零八

一百零九

一百零十

一百零一

一百零二

一百零三

一百零四

一百零五

一百零六

一百零七

一百零八

一百零九

一百零十

一百零一

一百零二

一百零三

一百零四

一百零五

一百零六

一百零七

一百零八

一百零九

一百零十

一百零一

一百零二

一百零三

一百零四

一百零五

一百零六

一百零七

一百零八

一百零九

一百零十

一百零一

一百零二

一百零三

一百零四

一百零五

一百零六

一百零七

一百零八

一百零九

一百零十

一百零一

一百零二

一百零三

一百零四

一百零五

一百零六

一百零七

一百零八

一百零九

一百零十

一百零一

一百零二

一百零三

一百零四

一百零五

一百零六

一百零七

一百零八

一百零九

一百零十

一百零一

一百零二

一百零三

一百零四

一百零五

一百零六

一百零七

一百零八

一百零九

一百零十

一百零一

一百零二

一百零三

一百零四

一百零五

一百零六

一百零七

一百零八

一百零九

一百零十

一百零一

一百零二

一百零三

一百零四

一百零五

一百零六

一百零七

一百零八

一百零九

一百零十

一百零一

一百零二

一百零三

一百零四

一百零五

一百零六

一百零七

一百零八

一百零九

一百零十

一百零一

一百零二

一百零三

一百零四

一百零五

一百零六

一百零七

一百零八

一百零九

一百零十

一百零一

一百零二

一百零三

一百零四

一百零五

一百零六

一百零七

一百零八

一百零九

一百零十

一百零一

一百零二

一百零三

一百零四

一百零五

一百零六

一百零七

一百零八

一百零九

一百零十

一百零一

一百零二

一百零三

一百零四

一百零五

一百零六

一百零七

一百零八

一百零九

一百零十

一百零一

一百零二

一百零三

女の子二人は毎日お弁当、男の子は公立なので給食です。男の子は毎日、女の子のお弁当をうらやんでいます。そこで、お兄ちゃんたけは特別、朝食に女の子達と同じお弁当を食べたりします。

私のお弁当作りのポイントは、フタをとる楽しみを演出すること。牛丼弁当の牛肉は能登牛から、ラビゴンと選択は金沢駄菴のもの…子どものお弁当にも私の旅での収穫をいれてあげます。毎日のお弁当の他に、日曜日には、庭に芝生をひろげて外でお弁当やお重をいきだります。目前の前に湖や富士山をながめながら…

[View Details](#)



お弁当のおかずメモから

- お弁当のおかずは、必ずさまでから詰めること
 - 汁気の出ないメニューを考えること
 - 時間がたつと変色するものや、型のこわれやすいものの、味の変わるもののはさけること。
 - ごはんにワンポイント 梅干に葉っぱを添えたりのりで影絵を作ったり、楽しく食べられる工夫を写真右
おにぎり二段弁当
写真上
季節の吹き寄せお重 中・牛丼わっぱ弁当 下・かけのこせん

おかしやさーんで作っててる。一堂
だから、私も順々に説明してやった
んです。作る人は、この金米糖の材料
をどこから持ってくる? 江浦の農
家の人はどうやってサトウキビから
サトウをとるか、このサトウを煮と
かす釜は誰が作ったか? という具合
に延々と続くわけですね。それだけ

浜 私が妊娠中や
ごはんを意識した
味するものに、ど
からなのでしょう

おじいのこはう語になりました。このおかずを持つてごらんなさい。そしたら、いやしきことなくひかれた子育ての時期に、言うんですね。しさはひとつつ一人で食べても、食卓を囲む人の加するんですね。

そこで、食うことをこんな風にして
説いたんです。日曜日のいつものお
つとめの後、さあ、おやつだぞーと
言ふたら、子ども達はワッ!!と喜ぶ
んです。全員ならべて、金糞糖を一
個づつ配ります。

“なんだコリヤ”
“おやつだよ。”
“フン”と子どもが言うから、
“バカヤロー”と私。

派——そういうことが広めようとしよう。

とを通じて青山さん
ていることはなんで
味わおうといふこ
の多様化といわれ
の価値にふりまわさ
し、意味というのほ
味を知り、味わうこ
たがつたんですよ。



ます。浜さんのおしゃつひょうが近頃、ほんの尊さを感じる人が少なくなつたな、と思いますね。私の寺で、面白いことをやつているんですね。

浜——それは、どんな？

雪山——固苦しく言えば日曜学校で仏の教えを説く場なんですが、私流のやり方でやるから、あるときは雪ん子(ゆきこ)でもやることあります。

おもてなさんなんぞ、あり余れるつを
与えられていますからね。食べ物に
手を合わすなんて習慣ないもの。親
の方が驚くわ。

雪山—それでね、疑問をもつた親達
が、一度、お寺に話をさきに行かな
きや、といつて集まってきたんです。
それがきっかけで婦人会がでできちゃ
った。日本—おいしい菓子を食べる

つい最近こんなことがありました。

浜——ところで、我家はいま8人家族で、みんなで食事をするときの暖やかさつたらありません。おひつのごはんの減り方もいつも違うんですね。こはんはみんなでいただくもの、つくづくそう思います。

みんなで食べててもおいしくない
「、息子は給食をおいしかったと
たことがありませんね。友人の
も達もそういうのです。みん
食べているのに…」

雪山 最近、学校でもその辺に気
いて、ランチルームを設けてクラ
別ではなくみんなミックスして上
子下の子と一緒に食べさせるとか、
そんな工夫をしているようですね。

なんたちも思わないかもね。栄養ランス第一で。スペゲッティとトマトれん草の煮つけとごはんアーブと、なんて和洋中華ミックルたいな献立も栄養価を作られるおいしさは二の次だしね。浜一千ども達は、決められた時間に、残さず食べきやいけない強制されてもおもしろいですね。

雪山——それはね。先生が“おい
ね。”って言わないからですよ。

「雪山一最近、学校でもその辺に気
氛の別ではなくみんなミックスして上
手下の子と一緒に食べさせるとか、
そんな工夫もしているようですね」



「尊いお恵みによぬ
おいしくいただきまつた。
た。おかげでごちそんで
さまでした」

しい
ど。 そうそう、先日、うちの息子達
は、給食を満開の桜の木の下へ食べ
る。



ごはん詮義

いたずら

白鶴・教化に舞う

合唱して会を閉じました。

花まつりに：

白鶴会、お経の会のメンバーがお友達をお誘いして、春の聞法バス旅行、今年は明教院さまのおり渡辺さんのお世話で、高山行

きとなりました。あいにくの雨日赤尾の道宗のお寺、行徳寺へ。御住職のお話を聞き、蓮如上人の直筆や道宗の遺墨を立派な記念館で拝見して、今年もありがたい良い旅ができましたとよろこびながら帰途につきました。

「後生の一大事、ゆだんあるまじきこと」—道宗

聞法に：

六月一日、今年も行信教校校長

利井興弘師におこしただいての記念講演、会員の他にも総代さんやいつものお講のお参りの方など、およそ百人余の方が集まって、一時から行われました。人の目をもらつた人、子供をおろした人などあるが、みんな二人分、三人分のお聴聞をしなければ：などかんでふくめる

よくなお話に、涙しながらお聴聞させていただいたことでした。

(玲子記)

旅行に…

八月

寺
ごよみ

きなしだれ桜が咲きほこっているまさにため息をつき、山のお寺の境内にある嘉念坊で昼食。これがまたうれしく、いつも口にしている山菜が細やかな手造りで、口に入れるのが惜しいような精進料理でした。御母衣ダムの二本の桜の話を聞きながら、この旅の終りは

一日 お講 石田・生地・中新六日 一泊聞法 恒例の特別法

七日 座で、六日は

お初夜。七日は早朝午前五時。

お説教は利井明弘師。

一二日 ことども盆踊り練習会

一三日 一四日

一五日 ことども盆踊り大会

一六日 浦山・盆踊り大会

一九日 総代会

二八日 うらやま日曜学校

雪ん子劇団夏の公演

☆夏休み期間中、毎週日曜日は早朝日曜学校を開校



門信徒の婦人の集い、白鶴会の第二回総会は、六月一日午前十時から開かれました。音沢、内山、下立、下村、浦山から三十余名の会員が出席。みんなで真宗宗歌をうたつたあと、坊守の挨拶。ついで本波ヒサさんから、五十七年度の会務報告、大藪富美子さんから会計報告がありました。

このあと、五十八年度の事業計画を検討。八月六、七日、利井明弘師をお迎えしての一泊聞法。これでも盆踊りへの参加。十一月五日の空華忌の講演は行信教校の高田慈昭先生に決定したこと。新年会、花まつりでの奉仕活動。そしてできれば映画会もと夢がふくらんだことでした。また、各地区の世話方の紹介があり、会員とお寺との、かけはし役をおねがいしました。最後に「のんのさまの子守唄」を

あつという間になくなつてしまいました。田んぼの忙しい時期だったのです。北川トキエさんがお菓子屋との交渉を全て引受け下さり、会員が砂糖やもち米をもち寄つての御奉仕でしたが、もつと数を増さなくてはとか、もう少し小さく食べ易くなど反省しながら、早くも来年を楽しみにしています。

見物でした。高山は桜が満開、大



時中、モンベ姿で、京都松ヶ崎
の挨拶が卓越。「お互いに長生き
久しぶりの顔に接する。
子供達の結婚式に来て頂いた
記憶。亡父の葬式の際の姿。戦
時中、モンベ姿で、京都松ヶ崎



六月二十二日 水曜
今にも降り出しそうな空模様。
此の頃、新聞を抜げると先ずス
ポーツ欄に目をやる癖になつた。
巨人逆転負け。阪神逆転勝ち。
今日は、家内と八尾聞名寺の
法要に参勤の日。前住職、真量院
二十七回忌である。

浦山発九時五十九分。電鉄富
山着十一時四分。富山から、速
星廻り八尾行のバスに乗る。聞
名寺は、五年振り。前住は、私
の義兄に当る。

鎌倉・大宮・福井・江州等と
百七十三種の長身で、参詣の門徒
衆の注目的的。

法要終つて、料亭で宴席。住職
の挨拶が卓越。「お互いに長生き
い。



住職日記

聞名寺 鐘櫻

開闢草
の住職連は、ボトルを空けつつ、侃
侃の法論が續いて
いる。

婦人連は、山草
論議である。山草、
野草と云えば、八
尾近辺の山地は、

しまよう。淨土真宗御繁昌 お
目出度う

夕闇迫り、窓下の川瀬の流れ、
美しい。川の名、「久婦須川」
聞名寺、新築の書院に帰つて、
流石に、若い世代
の住職連は、ボトルを空けつつ、侃
侃の法論が續いて
いる。

「舞鶴草」「人静」「大文字草」
「銀盆草」「浦島草」「文字招草」
「螢袋」
聞名寺太子堂の、聖徳太子尊
像の額入写真を頂く。寄木造、
彩色、玉眼なり。

就床 一時。

聞名寺 鐘櫻

截つて し鳥

紫陽花の大一輪や

前住忌

県内有数の山草地帯と聞いている。

こここの坊守さんは、殊にすぐれ
た山草通。小生俳句の材料にと、
その名を列挙すること左の如し。

おなじみ野休み落語会

「馬鹿を承知で、地獄をのぞく
ことになりました」とおっしゃつ
てた永六輔さん「生ぐさい話は抜
きにして」と選舉期間中の六月五
日にお越し下さつて、相変わらずキ
ラリと光る楽しいお話を。

つづく二ツ目柳家はん治さんは
前座の小はせから昇格してのお目
通り。

うまさ百倍の入船亭扇橋師匠は
「いいですねえ、チョーチンチラ
チラ、こんないい雰囲気ではない
が出来るなんてどこ、めったにご

を訪ねて下さつた時の、元気な戦
斗帽スタイル。晩年、病床にあつ
て、私の教育委員就任を悦んで下
さつた時の聲音。

あれこれと、断片的だが、三十
年以上の昔の故人の
温情が、今更乍ら、
身にしみる思い。

無量寿經作法。法
衣の面々を見渡して
も、小生が、何時の
まにか、最高年令にな
つてゐる。

雪ん子

売れつ子

ことばの教室雪ん子劇団は近頃

ますます絶好調。団員も六月とう

とう五十人を越え、数の上でも大

劇団！

はなののののはな、はなのな
ふつうなら名人会ですよ」と笑わ
せて「初天神」で親子の情を笑い
とホロリで、心底樂しませて下さ
いました。

めつたに出会うことのない本モ
ノの芸、永さんのおかげで秋には
高橋竹山の津軽三味線も聞けるか
とホロリで、心底樂しませて下さ
いました。

などということはあそびをやつ
たり、ミュージカルをやつたりで
楽しいがぎり。七月には十日に宇
奈月町の青年祭、二十三日には置
県百年記念新世紀博の野外劇場で
ドンと公演いたします。



この劇団は、お寺の日曜学校か

ら生まれたもので、若院夫婦と夢
を語る会のメンバーが指導と裏方
を担当、町教委やライオンズクラ
ブの応援をいただいて運営をして
います。

で、今年は特に子供達の力の入
れようが目ざましく、劇の内容も
はなやかで、どこへ出してもはず
かしくない出来ばえです。

そこでもし、公民館や市民会
館で、何かの催しをと考へていら
っしゃる方がありましたら、若院
の説教はさておき、雪ん子劇団を
呼んでやつてほしいのです。日曜
日なら出演可能。ギヤラは実費で
けつこう。心ある方はご一報下さ
い。

祠堂会に内陣法名を

七月十四日から一週間、恒例の永代祠堂会がつとまります。ご承知のようにこの法座は、門徒の方々の祠堂の懇意に対して、永代経のおつとめをさせていただくもので、いわば門徒の皆さん総法要です。お参り下さい。講師は富山の里村了学師。もう五十年近く続けて

出講して下さっているおなじみの布教使先生です。日程はこの寺報の一頁、寺ごよみにあります。

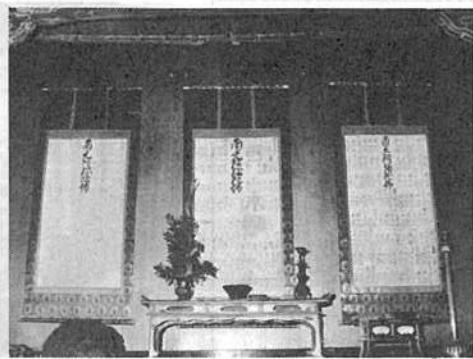
ところで、この法座の満座にある二十日に、五年前から「内陣法名」の特別法事がつとめられてゐるのをご存知でしょうか。

特別懇意（祠堂）一口五万円を志納されますと、寺の内陣にならぬ方の法名を記載させてい

ただき、当日は施主の方々に、内陣焼香をしていただきます。

現在法名軸は三幅目で、おひもとき以来、門徒の方にはようこばれ、寺の莊嚴もおかげできれいになつてしまひました。

しかし、まだ、この「内陣法名」



ミドリの仲間

境内にミドリの仲間がふえました。一本はクスノキ。浦山新の浦

滝友一さんから。スクスク育てば大木になるとか。



夏の夜の一泊聞法

八月六日 午後七時半 お初夜
七日 午前五時 晓天講座

講師 行信教校 利井明弘師

今年で七回目の一泊
聞法——。
なごやかな夜のお座
さわやかな朝の法座
おさそい合わせの上
ご参集下さいませ。



インド仏跡参拝団

おしゃかさまのみあとしたいで

めったにない機会ですので、心

善巧寺では来年一月、インド仏跡

ある方は是非申し出て下さい。

参拝の旅を計画しています。

これまで二度、門徒有志の方と

出かけましたが、この上ないよろ

こびにひたことができ、その評

判が広がって、他の方々からも、

一度、寺から募集をしてくれたら

との声が出ていました。

これまで二度、門徒有志の方と

一度、寺から募集をしてくれたら



オット危ない

庫裡の広間の床がユラユラ。はぐつて見たら、ほとんどが腐つていました。盛土をして換気をよくして、全面的にやり変えましたので、もう安心です。支柱は北米産のクサマキ。おとぎの席につく私

夏休み早朝日曜学校

夏休み期間中の日曜日、お寺では早朝日曜学校を開きます。

午前六時三十分のラジオ体操のあと、境内でおにごっこ。

七時からおつとめとおはなし。そしてみんなで朝がゆをいただきます。子供さんに限らず、浦山に限らず、親子で「心の体操」にお越し下さい。

今年は、その関わり合い、ふれ合いについて考えようという「国際コミュニケーション年」だそうです。

ひとつ、考え方でみませんか人と人とのふれ合いを。人と物との関係を。地球はあるくおさまっているみたいだけど、あなたのが家庭はどうか。村はまるいか、町はまるいか、いや、そういう私の心は本当にまるいか：

合掌

「独生独死独去獨來」—無量寿經にあるように、人間は一人で生まれ、一人死に、一人來たりて、一人去る：まさに私たち一人ぼつちであります。

でも「機は闇なり」という言葉もあるように、そのたつた一人の私（機）は、だれかと、なにかと関わり合い、その関わり合いの中で生かされているものでもあります。

「心と心がふれ合えば地球はまるい」

今年は、その関わり合い、ふれ合いについて考えようという「国際コミュニケーション年」だそうです。

私は、その関わり合い、ふれ

合いについて考えようという「国際コミュニケーション年」だそうです。

私は、その関わり合い、ふれ

合いについて考えようという「国際コミュニケーション年」だそうです。